

映像に触れる

平成 29 年 9 月 1 日、京都工芸繊維大学の池側先生と同大学の学生 3 名をお招きし、映像に関するワークショップを美術Ⅲの生徒たちを開催しました。

写真の原理や、残像現象、様々な視覚装置の誕生から映画になっていく流れ等をプロジェクターと様々な道具を用いて、教えていただきました。初めて知ったことも多くて、とても興味が湧きました。



自分たちで考えた動作をスマホで撮影した後、その映像をもとに、驚き盤を作ります。生徒たちは作業に入ると、緊張がほぐれ、池側先生や大学生に丁寧にアドバイスをもらい楽しい時間となりました。

(生徒感想)

大きな機械を使わなくてもちょっとしたアニメーションなら作れてしまうことが分かって面白かったです。同じ素材でも自分だけしか見られなかったものを他人にも見せられるように変えられるところがよかったです。小さい頃の遊びが発想次第で大人も楽しめるものになると思いました。



(生徒感想)

作業を進めていくうちにだんだんとのめりこんでいきました。説明もわかりやすく楽しかったです。初めての挑戦だったけど、うまくできてよかったです。アプリを使ってアニメーションを作るのは驚きました。材料も身近なもので作れるので、作ってみたいと思いました。



講師の先生方、貴重な体験をありがとうございました。